

宇宙戦艦ヤマト

バンダイ 宇宙戦艦ヤマト2199メカコレクション改造
製作・文：政府開発援助

1. 宇宙戦艦ヤマトについて

謎の敵ガミラスを打ち破り地球に放射能除去装置を持ち帰った宇宙戦艦ヤマトは、その功績により一旦は記念艦とされたものの、次々と迫り来る新たな脅威から地球の平和を守るべく最前線で戦い続け、最後には水惑星アクエリアスによる水没から地球を守る為に自沈してその生涯を終えた。ときに西暦2205年ー。

2. キットについて

新しいメカコレは価格こそ400円＋税にアップしましたが、かつてのメカコレと同サイズの箱にランナーがみっちり詰まっているというサービスぶり、スライド金型の使用により精細なモールドと組み立て易さが両立されています。しかもこのサイズでスナップキットを実現しているというのが驚きです。ヤマトに関しては二色成形となっており、組み立てるだけでほぼ劇中同様の状態になることから初心者にも安心して薦められるキットとなっています。

3. 製作と塗装について

旧作アニメを知る身としては2199版ヤマトの流線型っぽさ(特に上半分)に違和感を覚え、新メカコレの喫水線から上を旧メカコレと挿げ替えることにしました。新メカコレの方が喫水線長が数ミリ短いので、分割を利用して若干延長。オーバースケールと感じられるモールドは思い切ってタミヤの瓶入りサーフェーサーで埋めました。艦尾に若干生じる段差はエポキシパテでラインを整えています。補助エンジンのバルジは先細りにしたかったのでアリイ(旧エルエス)の1/144アメリカ爆弾セットを用いて作り直しました。艦首周りは波動砲口にエポキシパテを充填した後モーターツールで削り込み。ちょっとした遊びとして、主翼の開閉両方の状態を差し替えて再現できるようにしてみました。喫水線部分で上下分割構造にしてネオジウム磁石で着脱可能にしたので、ウォーターライン状態も再現できます(メインズルを型取り複製し専用部品を自作)。レーザーパーツは筋を入れたプラ材を貼り足して延長し、艦首魚雷発射管のハッチはマスキングテープの細切りを貼付。ロケットアンカーは新メカコレのものを型取り複製しました。飾り台は旧メカコレに付属する土台部分に新メカコレの支柱を組み合わせました。

塗装は「完結篇」に準じて上半分はクレオスのガンダムカースプレーのMSグレージオン系、下半分は同じくガンダムカースプレーのMSレッドを用いています。窓はオレンジとしましたが、参戦章(主砲砲身の白三本線)はオミットしました。最後にタミヤのスミ入れ塗料でスミ入れ後、クレオスのつや消しクリアーでコートしています。



前面

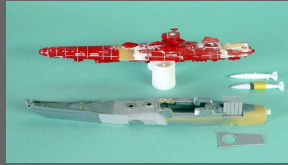


後面

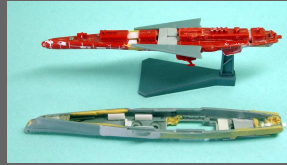
4. 製作過程



旧メカコレの喫水線下を切除し新メカコレの艦底部と合体。



後部甲板周辺と補助エンジンバルジを新造。



主翼は開閉状態を差し替え可能、艦体上下は磁石で位置決め。



メインノズルを複製して洋上モデル再現用部品を製作。